

食の志向「健康志向」が続伸、過去最高を更新

< 平成31年1月消費者動向調査 >

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、「平成 31 年 1 月消費者動向調査」を実施しました。

現在の食の志向は「健康志向」、「経済性志向」が上昇傾向にあり、特に「健康志向」は過去最高となりました。

また、国産食品と輸入食品に対する価格のイメージは、国産食品は「高い」、輸入食品は「安い」といった従来のイメージが変化しており、国産食品と輸入食品の価格に対するイメージの差は縮小傾向にあることが伺えます。

詳細は以下のとおりです。

<調査結果のポイント>

○ 健康志向と経済性志向が上昇傾向、国産志向等は低下傾向（資料：図1, 2）

消費者の現在の食の志向は、「健康志向」（46.6%、前回比+0.9 ポイント）が続伸し、過去最高であった 26 年 1 月調査（46.5%）を上回り過去最高となりました。また、「経済性志向」（36.9%、同+1.6 ポイント）は 3 半期連続の上昇となり、「簡便化志向」（31.2%、同+1.4 ポイント）とあわせて、3 大志向は全て上昇しています。

一方で、「安全志向」（18.5%、前回比▲0.1 ポイント）、「手作り志向」（16.5%、同▲1.3 ポイント）、「国産志向」（15.6%、同▲1.0 ポイント）、「美食志向」（13.8%、同▲1.7 ポイント）はいずれも低下しています。特に、「手作り志向」と「国産志向」は 3 半期以上連続で低下しています。

○ 国産食品であるかを「気にかける」割合が低下（資料：図3）

「食料品を購入するとき国産品かどうかを気にかけるか」を聞いたところ、「気にかける」と回答した割合は 72.3%（前回比▲1.1 ポイント）、「気にかけない」が 24.9%（同+0.7 ポイント）となり、前回調査に続き国産であることを「気にかける」割合は低下傾向、「気にかけない」割合は上昇傾向にあります。

また、「外食するとき国産品かどうかを気にかけるか」を聞いたところ、「気にかける」と回答した割合は32.5%（前回比▲0.9ポイント）、「気にかけない」が60.3%（同+1.9ポイント）となりました。外食時に国産であることを「気にかけない」割合は、直近3年で緩やかな上昇傾向（平成28年1月調査：50.0%→今回60.3%）であり、今回調査では、25年1月調査以来、6年ぶりに6割を超える高い水準になっています。

○ 国産食品「高い」、輸入食品「安い」という価格イメージに変化（資料：図4）

国産食品と輸入食品に対するイメージを聞いたところ、国産食品は「価格が高い」（64.6%、前回比▲3.8ポイント）が平成20年の調査開始以降で最も低い値となり、国産食品の価格に対するイメージは改善傾向にあります。一方で、「安全である」「おいしい」「色・形がよい」といった国産食品のプラスイメージは、前回調査に続き低下傾向にあります。

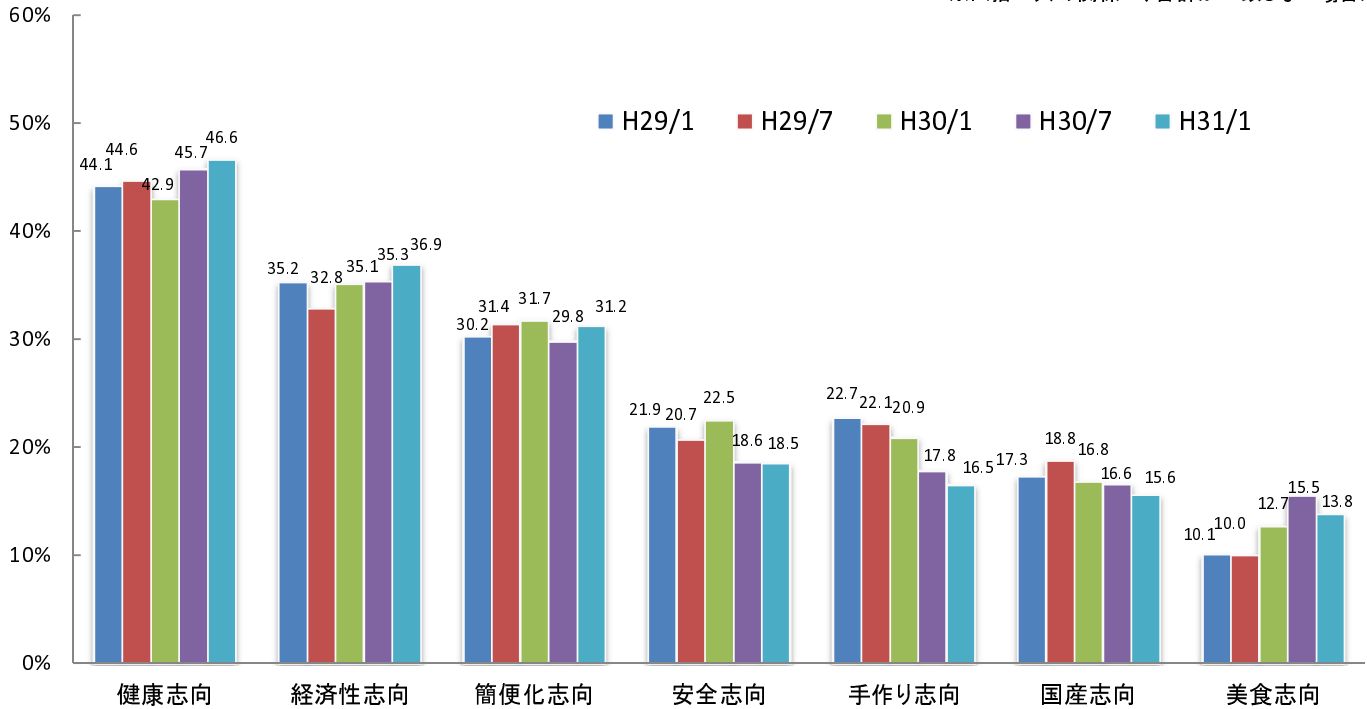
輸入食品のイメージは「価格が安い」（57.4%、前回比▲2.6ポイント）が調査開始以降で最も低い値となり、輸入食品の価格に対するイメージは悪化傾向にあります。一方で、輸入食品の最たるマイナスイメージ「安全面に問題がある」（37.0%、前回比▲1.2ポイント）は7半期連続で低下、調査開始以降で最も低い値となり、輸入食品の安全面に対するイメージの改善が続いています。

国産食品の「高い」「安全」「おいしい」「見た目が良い」、輸入食品の「安い」「安全性が低い」といった従来のイメージはいずれも低下傾向にあり、国産食品と輸入食品のイメージの差は縮小傾向にあることが伺えます

調査時期	平成31年1月
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査対象	全国の20歳代～70歳代の男女2,000人（男女各1,000人）

図1 現在の食の志向（上位）の推移/2つまで回答

※四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある。



年代別の食の志向H31/1調査

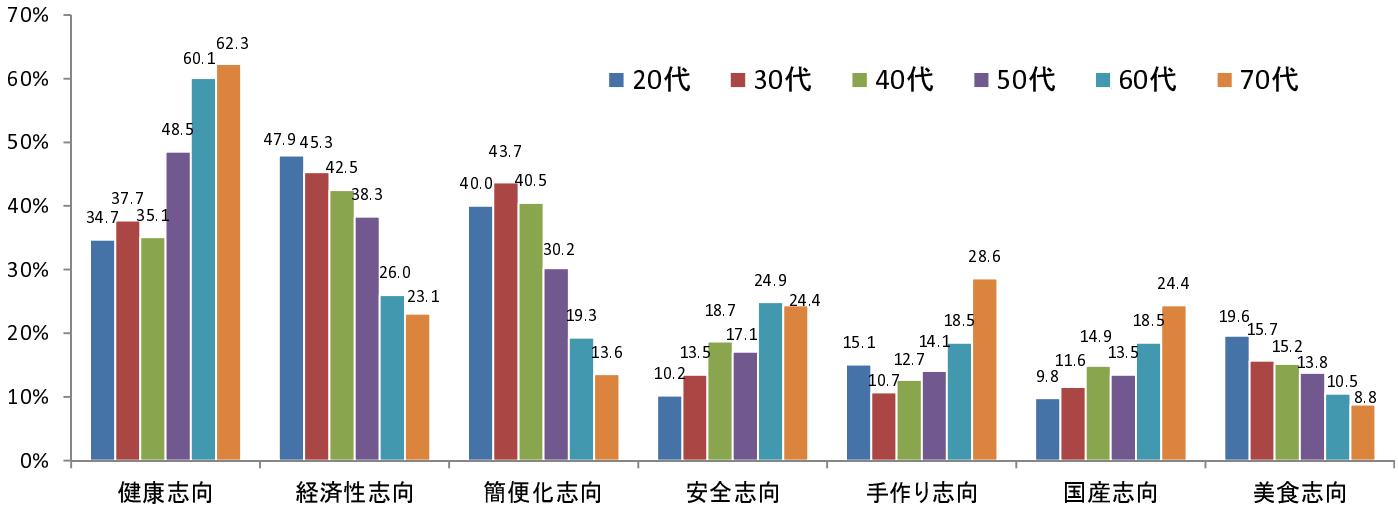


図2 「健康志向」「経済性志向」「簡便化志向」の推移

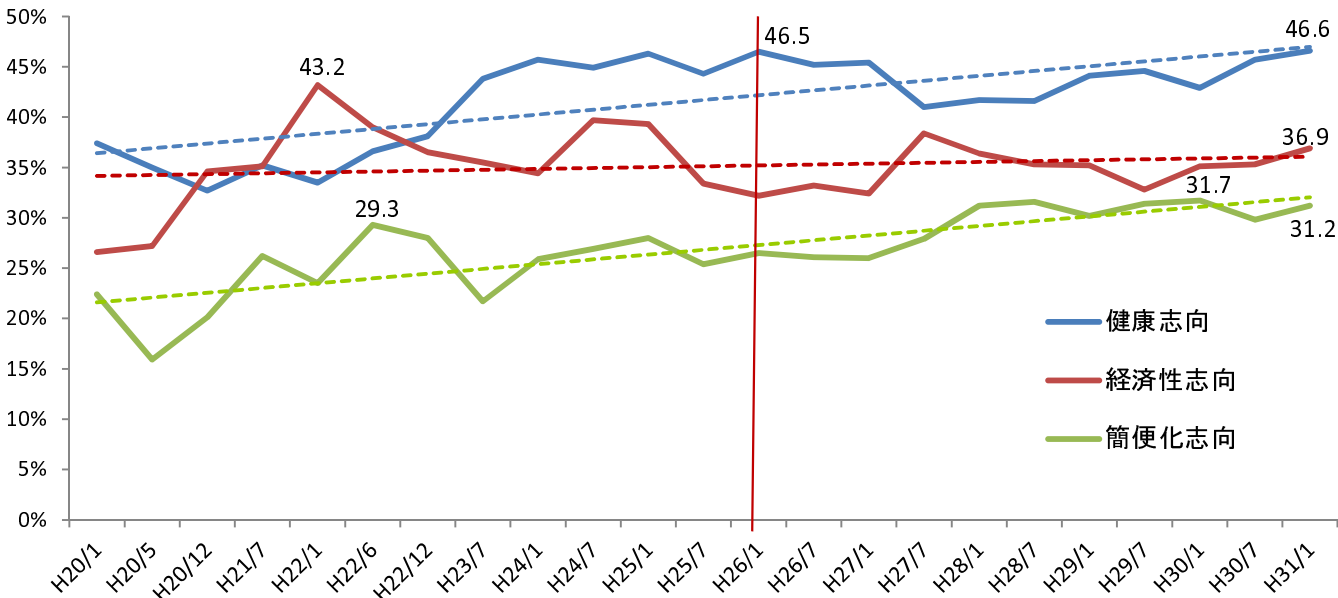
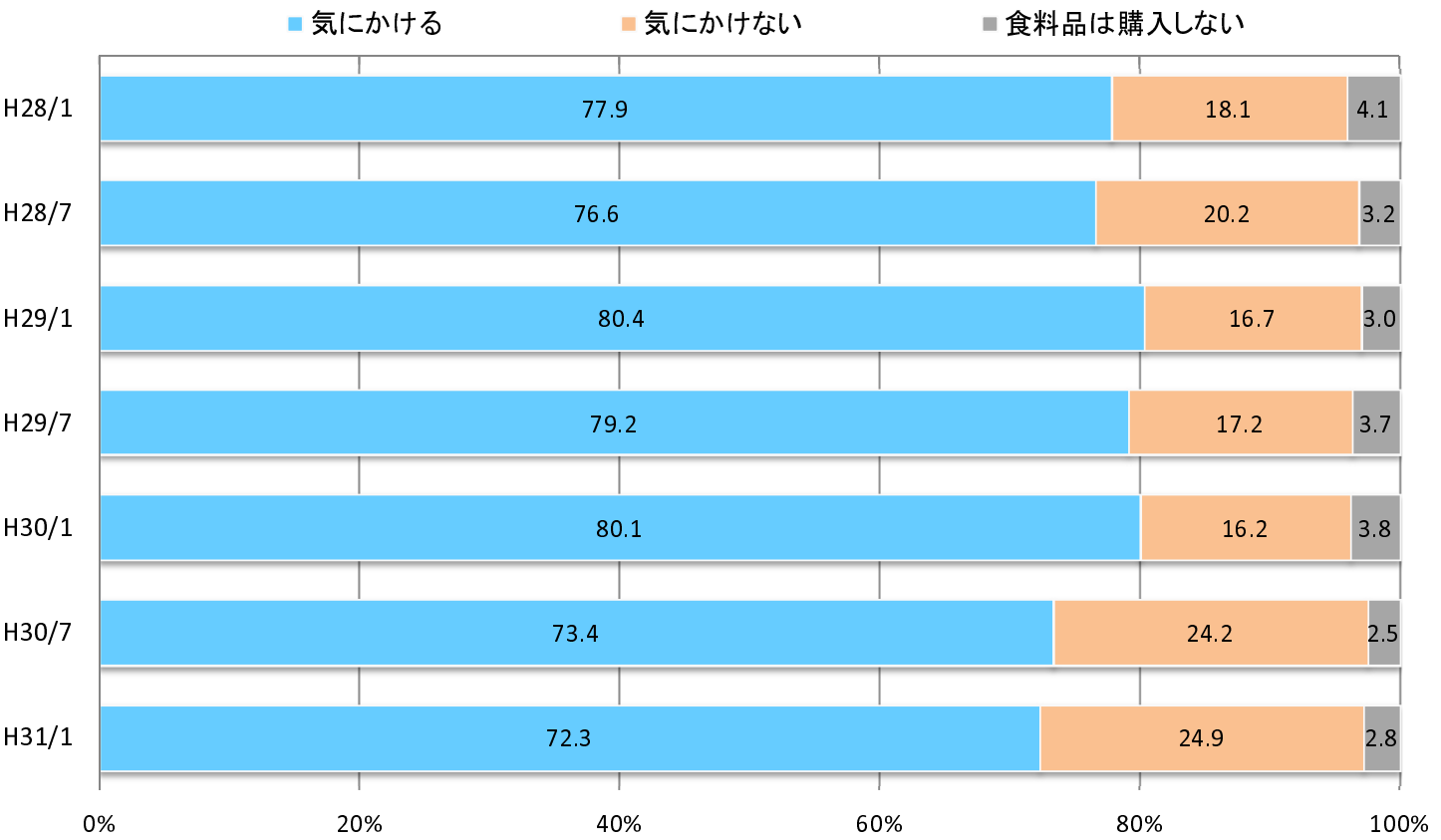


図3 食料品を購入するとき/外食するとき国産品かどうかを気にかけるか

(1) 食料品を購入するとき



(2) 外食するとき

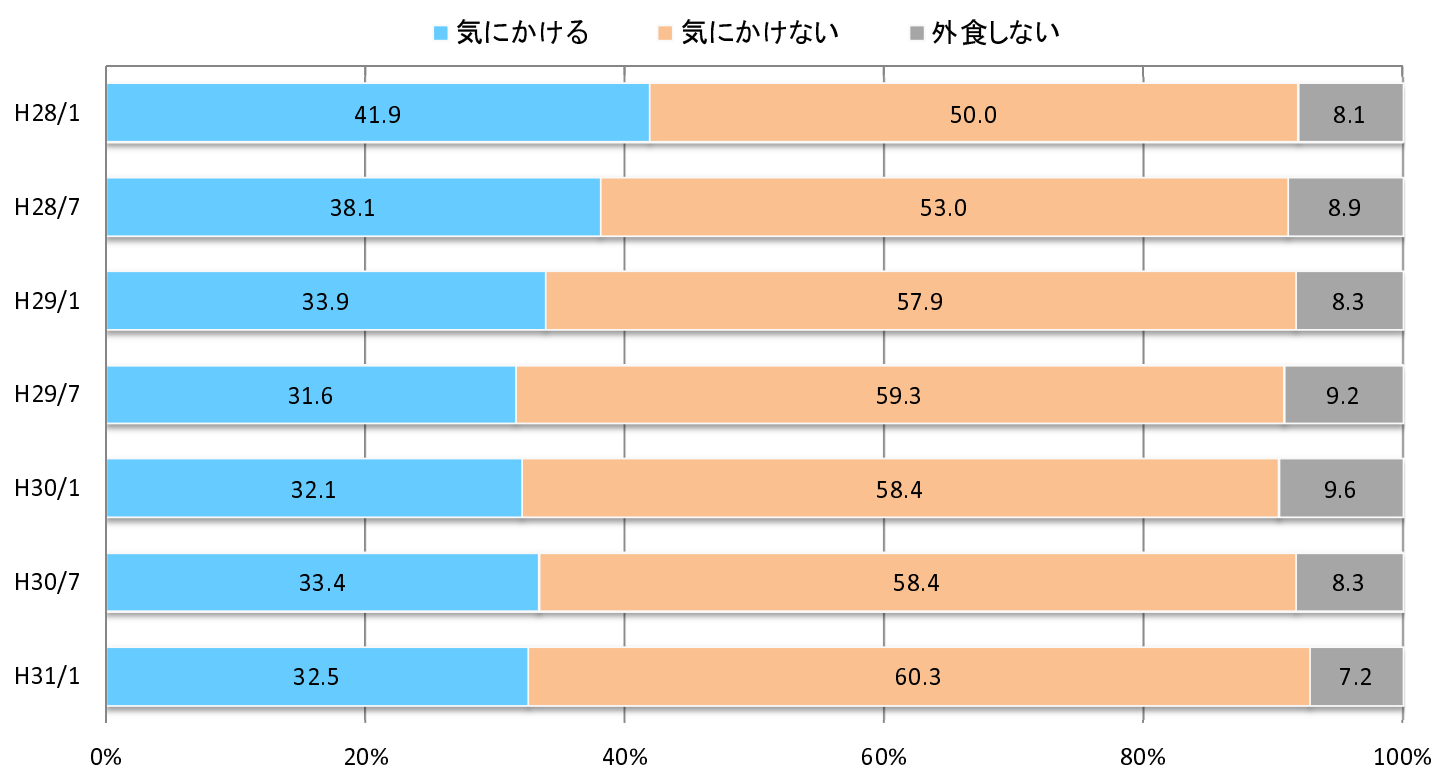
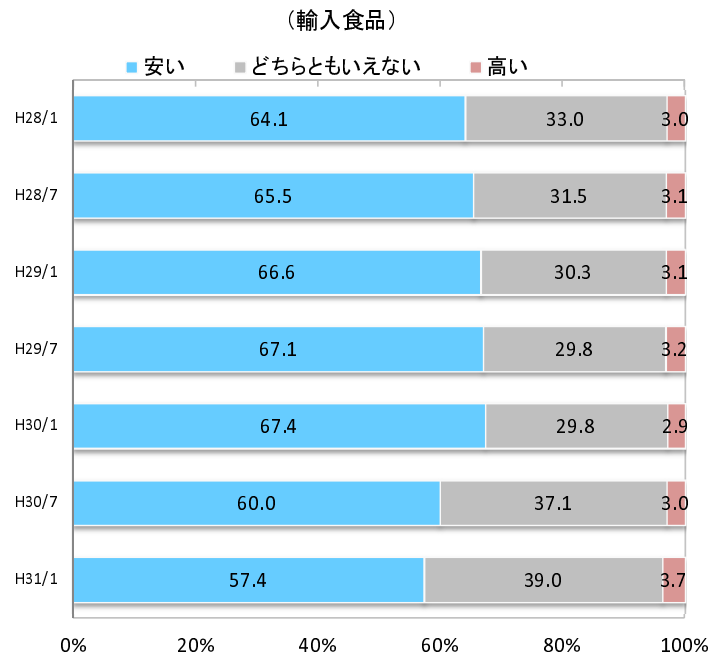
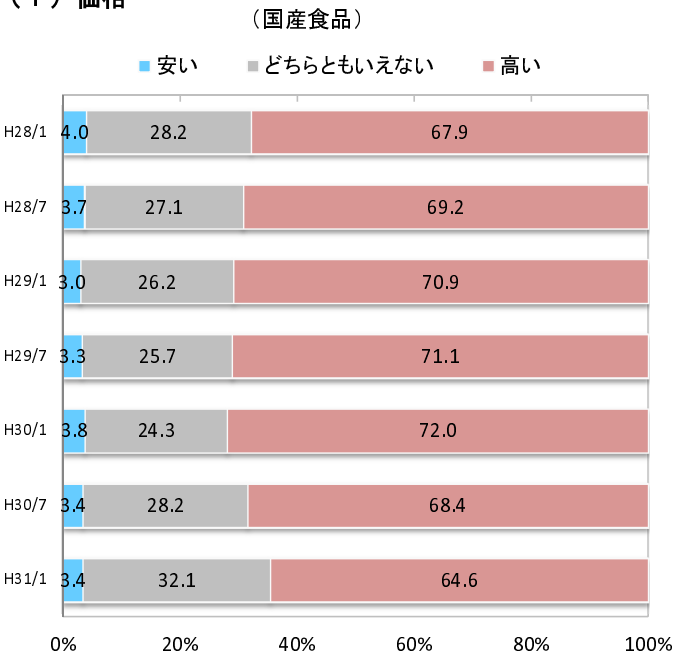
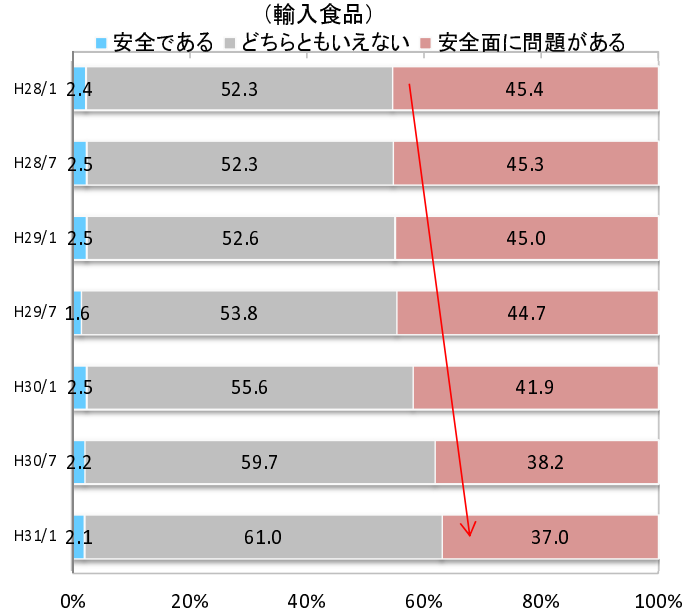
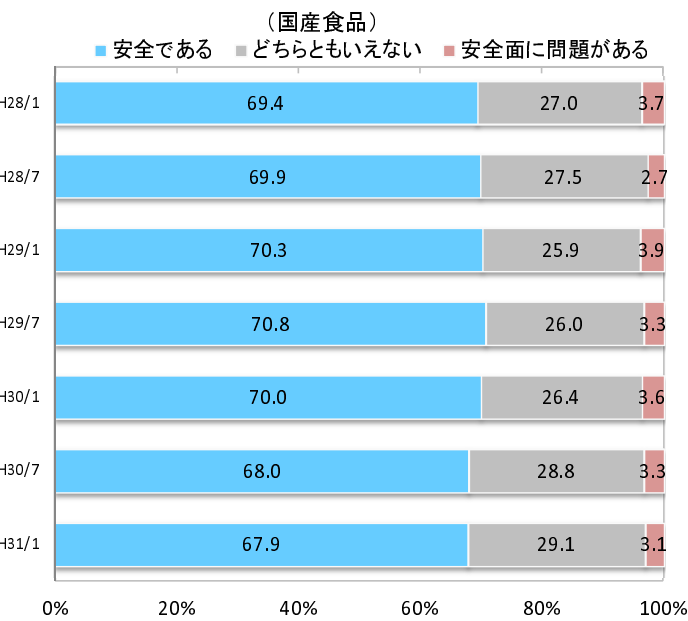


図4 国産原料の食品/輸入食品に対するイメージ

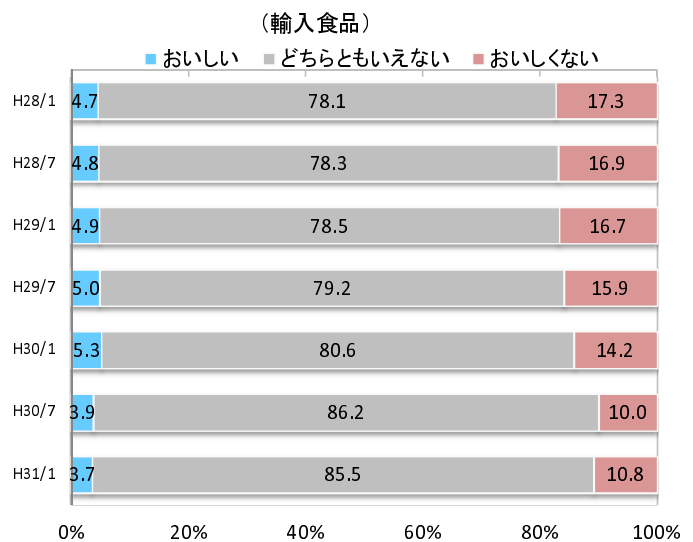
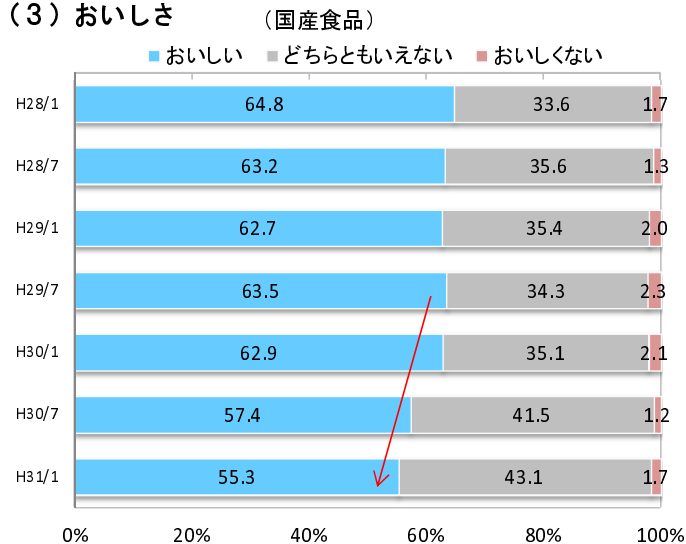
(1) 価格



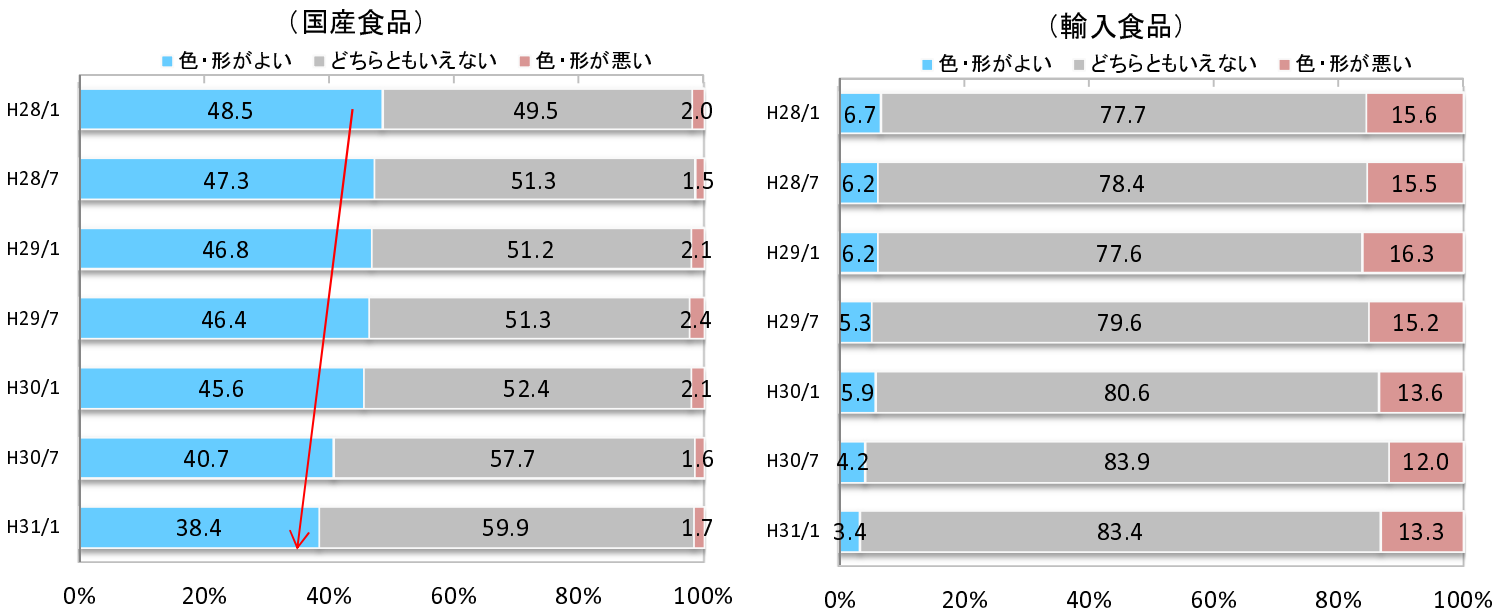
(2) 安全面



(3) おいしさ



(4) 見たい



(参考1) 国産食品の輸入食品に対する価格許容度



(参考2) 品目別国産食品の輸入食品に対する価格許容度

■ 3割高を超える価格でも国産品を選ぶ ■ 3割高までなら国産品を選ぶ ■ 2割高までなら ■ 1割高までなら ■ 同等の価格なら国産品を選ぶ ■ 国産品へのこだわりはない

